完成基準のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 完成基準の共有と、認識違いによる追加作業・手戻りを確認する

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　作業前に、完成基準と理解の確認方法を決める

対象の作業：

完成基準（どこまで・どの状態になれば完了か）：

基準を伝える方法（図面・写真・見本・チェック表など）：

理解の確認方法（本人の言葉で説明してもらう・見本で確認するなど）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：作業前に完成基準を共有し、相手の理解を確認できた回数

結果KPI：完成基準の認識違いによる追加作業・手戻り件数

日付	作業前に基準を共有し 理解を確認できた回数	認識違いによる 追加作業・手戻り件数	対象作業・認識の違い
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：作業前の基準共有と理解の確認を両方できた場合に1回。同じ作業への指示は1回まで。
※ 件数：認識違いで追加・やり直しが必要になった作業を、判明日に1件。同じ作業は重複計上しません。
※ 後からの仕様変更・新規依頼や、認識違い以外の施工ミスは除きます。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、次に完成基準・伝え方を見直すこと

人を責めるためではなく、自分の気づきや、完成基準・伝え方・理解の確認方法の見直しに使います。